



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社オーイズミ
 代表者名 代表取締役社長 大泉 秀治
 (コード：6428 東証第 1 部)
 問合せ先 取締役管理部長 前田 信夫
 (TEL. 046-297-2111)

営業外費用の計上及び通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は平成 30 年 3 月期において営業外費用(貸倒引当金)を計上するとともに、平成 29 年 11 月 8 日に公表しました平成 30 年 3 月期の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 営業外費用の計上について

事業提携を目論んでいる医療法人に対する病院(開業実質初年度)の開設資金として融資した貸付金について貸倒損失に備えるため、当平成 30 年 3 月期末において貸倒引当金 393 百万円を営業外費用に計上することといたしました。

2. 平成 30 年 3 月期通期 業績予想との差異

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(百万円未満は切捨)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,200	百万円 △150	百万円 △380	百万円 △530	円 銭 △23.55
今回実績 (B)	11,119	24	△504	△683	△30.37
増減額 (B-A)	△81	174	△124	△153	
増減率 (%)	△0.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	12,902	726	613	562	25.02

3. 差異の理由

部品原材料のリユース並びに営業経費の節減効果により営業利益が改善したものの、当該貸付金の回収期間が病院の事業計画に基づくキャッシュフロー見積もりでは長期(12年)にわたることから上記に記載のとおり第 4 四半期において、財務健全性の見地から貸倒引当金(営業外費用)を 393 百万円計上することといたしました。これにより経常利益及び当期純利益の実績値を押し下げることとなりました。

以 上